



2021年6月8日

各 位

会社名 株式会社シルバーライフ
 代表者名 代表取締役社長 清水貴久
 (コード番号：9262 東証第一部)
 問合せ先 管理部次長兼経営企画課長 齋藤玲子
 (TEL. 03-6300-5629)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年9月11日に公表いたしました2021年7月期の業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年7月期通期個別業績予想数値の修正(2020年8月1日～2021年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,530	百万円 650	百万円 770	百万円 460	円 銭 42.92
今回修正予想(B)	9,940	770	900	500	46.59
増減額(B-A)	410	120	130	40	—
増減率(%)	4.3	18.5	16.9	8.7	—
(ご参考) 前期実績 (2020年7月期)	8,832	934	1,086	678	63.80

(注) 2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

売上高は、昨年出店したFC加盟店が順調に売上を伸ばしていることから、期初計画を上回る見通しです。

売上高総利益につきましては、新工場(栃木工場)の稼働開始まで群馬工場の稼働率が高水準で維持したこと、冷凍弁当の直接販売比率の上昇が継続していること等から期初計画を上回る見通しです。

売上高と売上高総利益が期初計画を上回ったことから、営業利益、経常利益、当期純利益は期初計画を上回る見込みです。

なお、第4四半期会計期間は、新工場(栃木工場)稼働による減価償却費負担等から売上高総利益は第3四半期累計期間と比較し減少することを見込んでおります。また販売管理費には、来期に向けた広告宣伝の拡大、株主優待新設の引当金等の費用を見込んでおり、特別損失には2021年7月に群馬工場の改修に伴う一部設備の廃棄による費用約80百万円を見込んでおります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上